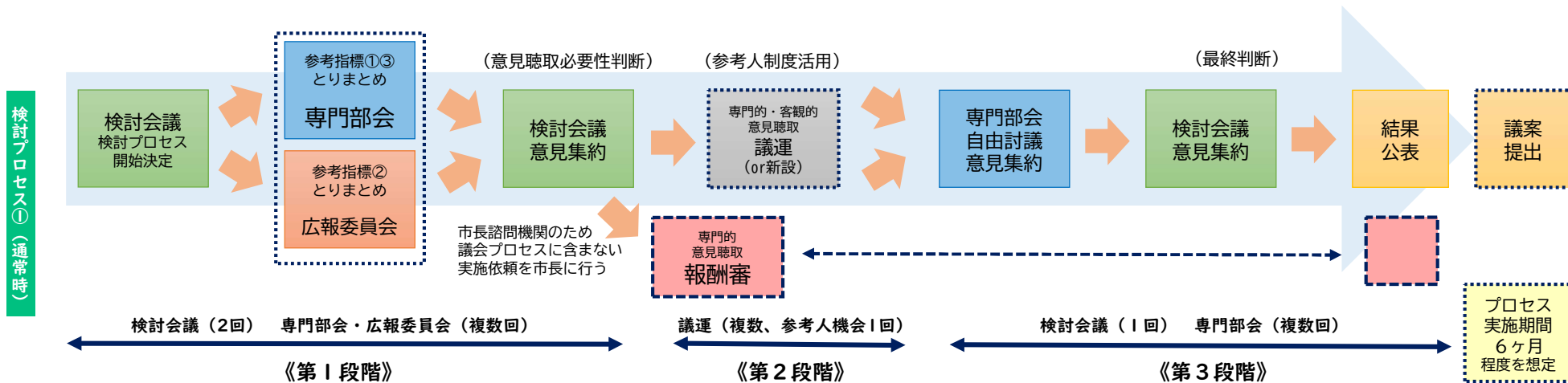


議員定数・報酬における検討プロセス「算面モデル」 - 3つの参考指標と検討プロセスを「見える化」 -

検討プロセスの見える化

《基本的考え方》 ①毎任期中に1プロセスを実施することを前提とする（改選後、中間期、改選前は要検討）
 ②専門的、客観的意見聴取（報酬：特別職報酬等審議会、定数：未定）を経由することを前提とする



3つの参考指標を整理する

《基本的な考え方》 参考指標は結果を直接で判断するものではなく、最終決定は検討会議で行う

① データ比較

○人口規模を主要素として基礎、変動データを比較
 →±値を付与
 ●合計値で増減判断段階を設定

② 市民意識満足度

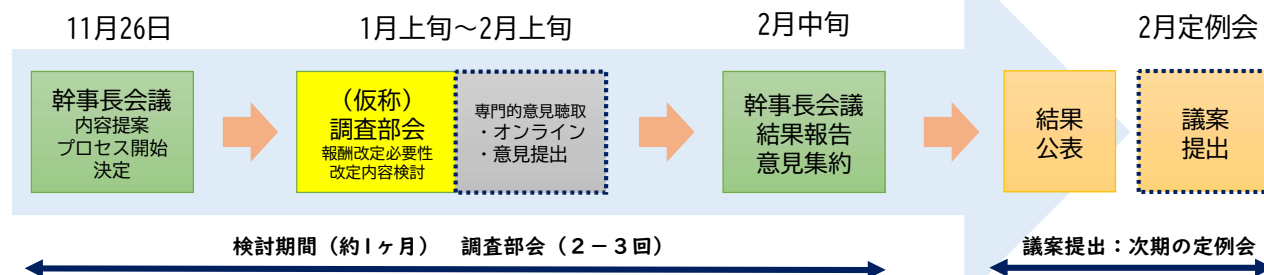
○議会アンケート調査
 手法：ネット、SNS等活用
 内容：①増減意識、増減理由
 ②満足度（議会関連項目）
 ●（%）で増減判断段階を設定

③ 議会運営 議会改革

○議会通知表（仮称）
 ※基本条例に基づく評価内容
 →議会改革実践・実働に見える化
 ●他市議会との実働量比較
 ●専門家による評価

※専門部会にてプロセス決定：11月5日、17日開催

検討プロセス②（緊急時）



（仮称）調査部会

- ・議長直轄の諮問機関的ワーキンググループ
- ・検討内容
 →緊急的報酬改定の必要性
 →報酬改定内容（額、期間等） etc
- ・構成および招集
 →議長が招集する
 →各政策会派代表1名（委員固定無し）
 →招集毎に委員を選出する